

私はこの度、福岡市歯科医師会主催のイベントで摂食嚥下ブースの相談業務を担当しました。これまで県士会の活動に参加する機会がなかった私にとって今回が初めての県士会活動となりました。

今回のイベントは新型コロナウイルス感染拡大の影響で数年ぶりの開催でしたが、多数の市民の皆様が会場に足を運んでくださいました。「誤嚥性肺炎」「摂食嚥下障害」という言葉がメディア等で一般的に使用されることが増えた昨今、嚥下障害の認知度は以前と比較すると向上し、障害予防に対する関心も高まってきていると思います。

市民の皆様がメディア等で得た知識と併せて、口腔機能・飲み込みに関する疑問や悩みを話し、笑顔で帰っていかれる姿がとても印象的でした。そして、今回の活動を通して、摂食嚥下機能に関する疑問や悩みを少しでも解消するお手伝いできたことは、これまで市民の皆様とふれあう機会のなかった私にとって貴重な経験となりました。

今回の経験から、市民の皆様が普段抱えている悩みを気軽に相談できる場所をつくりたい、飲み込みの専門家として言語聴覚士がいるということをより多くの人に知って頂きたいという思いが強くなりました。今後も県士会をはじめとする諸活動を通して、発信活動や地域貢献に力を尽くしていきたいと思います。

福岡ハートネット病院 伊藤佑夏

